

ほほえみ



桐生厚生総合病院

(編集 院外広報編集委員会)

〒376-0024 群馬県桐生市織姫町6番3号
TEL:0277-44-7171(代) FAX:0277-44-7170
URL: <http://www.kosei-hospital.kiryu.gunma.jp/>



基本理念

命を育み、病を癒す、安心で最良の地域医療

基本方針

1. 私たちは、患者さんの命を守り、健康回復とその増進を責務とし、地域医療の充実と発展に努めます。
2. 私たちは、患者さん及びご家族の思いを受け止め、分かりやすい質の高い診療に努めます。
3. 私たちは、説明と同意を大切にするチーム医療の推進に努めます。
4. 私たちは、地域医療機関との良好な連携強化に努めます。
5. 私たちは、弛まぬ研鑽と実践的な研修に努めます。
6. 私たちは、今後も地域基幹病院として、医療施設や職場環境の整備、効率的で健全な病院経営に努めます。

中耳疾患に対する外科的治療・手術について

耳鼻いんこう科部長 飯田 英基



中耳疾患は多数ありますが、その代表といえば、急性中耳炎（写真2）を想像される方が多いと思います。鼻水が続いて急に耳を痛がった時のような中耳炎です。

一般的には、じかん こまく 耳管（こしつ 鼓膜の奥の鼓室と上咽頭を連絡する通路）を通して感染し発症

します。大部分は、抗菌薬の内服や鼻の治療によってすぐに改善しますが、長引いたり、繰り返したりすることも稀まれではなく、結果として手術が必要になることもあります。また、急性中耳炎の既往がなくとも、耳管機能の問題などで中耳疾患を生じ手術が必要となる場合もあります。

ここでは、当院で行っている代表的な手術について紹介します。中耳の手術は繊細な操作が必要となるため顕微鏡下で行っています。

① りゅうちじゆつ 鼓膜ドレーン留置術しんしゆつせいちゆうじえん：主に滲出性中耳炎（写真3）に対し行います。中耳炎が長引くとき、耳管機能が悪いときゆちゃくせいちゆうじえん しんじゆしゆせいちゆうじえんに中耳に貯留液がたまり難聴を生じる疾患です。滲出性中耳炎から癒着性中耳炎や真珠腫性中耳炎など重大な中耳炎に移行する場合があります。鼓膜にチューブを留置し（写真4）中耳の換気を良くすることで難聴の改善や癒着性中耳炎・真珠腫性中耳炎（写真5）への移行を予防することができます。小児の場合、滲出性中耳炎の原因として扁桃腺の炎症が関係している時には、アデノイド切除術や口蓋扁桃摘出術を同時に行います。

② こまくせんこう 鼓膜形成術：鼓膜穿孔（写真6）があり聞こえが悪い時に行います。耳の後ろから採取した皮下組織や筋膜で鼓膜の穴を閉鎖し鼓膜を再生させる方法です。手術の適応については、聴力検査や耳管機能検査、CTなどを手術前に行い、評価します。

③ 鼓室形成術：慢性中耳炎、癒着性中耳炎、真珠腫性中耳炎のときに行っています。特に真珠腫性中耳炎は、周囲の骨を破壊しながら増大するため、めまいなどの内耳障害、髄膜炎などの頭蓋内合併症や顔面神経麻痺をきたす場合もあり注意が必要です。手術は耳の後ろを切開し、骨を削って中耳に達し病変の除去を行います。

なお、鼓膜ドレーン留置術は、大人では外来で局所麻酔下に行っています。鼓室形成術は、全身麻酔下で行い約3週間の入院を要します。その他は、患者さんと相談し決めています。

中耳疾患は、自覚症状が軽くとも進展している場合がありますので、耳が少し気になる方は、まずはお近くの耳鼻いんこう科に一度受診されることをお勧めします。

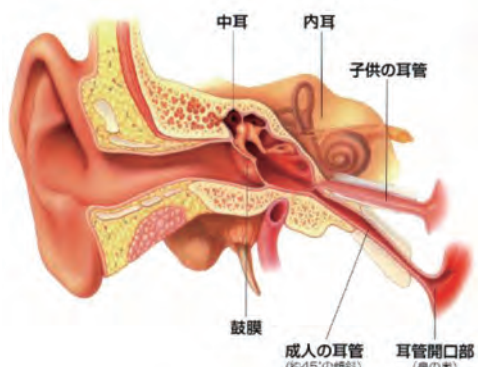


図1

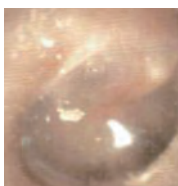


写真1: 正常鼓膜



写真2

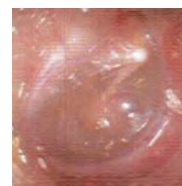


写真3

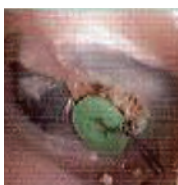


写真4



写真5



写真6

泌尿器科のご案内

泌尿器科診療部長 登丸 行雄



泌尿器科は、尿路（腎臓、尿管、膀胱、尿道）と男性生殖器（せいそう ぜんりつせん 精巣、前立腺など）、そして腎機能障害の治療（透析、各種の緊急血液浄化）を担当しています。外来で行われる治療は、ぼうこうえん じんう えん 膀胱炎や腎盂炎などの細菌感染症、前立腺肥大症や頻尿・尿失禁などの排尿障害疾患、慢性腎不全の保存的治療などがありますが、最も多い病気は泌尿器科関係の癌疾患とその治療です。

泌尿器科が扱う癌は、25年前と比べ、前立腺癌は3倍に、ぼうこうがん じんうようかんがん じんさいぼうがん 膀胱癌・腎盂尿管癌・腎細胞癌は約2倍に患者数が急増しています。この原因として、高齢化、食生活の欧米化、環境汚染物質の増加などが上げられていますが、はっきりしていません。環境汚染物質に影響を受けやすいと考えられる精巣癌は現在のところ目立った増加傾向はありません。癌が増加している原因がはっきりしていないため、的確な予防法は残念ながらありません。また、残念なことに進行してしまった状態で病院を受診される方が桐生地域では大勢いらっしゃいます。

では、根治治療が可能な早期の癌を発見するにはどうしたらよいでしょうか？病気別にお話したいと思います。

前立腺癌：50歳を過ぎた男性に、前立腺肥大症とともに最近著しくこの病気になられる方が増加しており、当院でも年間60人前後の方が、新たに前立腺癌と診断されています。「尿の出が悪くないから前立腺の病気の心配はないだろう」と思われるのは間違いで、前立腺肥大症と違い、早期には排尿障害の症状がありません。手軽に採血検査でP S A（前立腺特異抗原）を測定することで、癌になっている確率がどのくらいかが判かります。50歳を過ぎたら1年に1回、P S Aの検査をかかりつけの先生に測定してもらおうようにしましょう。

膀胱癌、尿管・腎盂癌：まとめて尿路上皮癌と呼ばれ、40歳以上の男女に発生します。進行すると排尿時痛や血尿などが伴いますが、早期ではそのような症状はほとんど出ません。健康診断で尿潜血反応が（1+）以上の場合、念のため泌尿器科の受診をお勧めします。特に、排尿痛などの症状が伴わない肉眼的血尿（目で見て赤い）があったときは、「1・2回排尿したら消えてしまったので大丈夫」と思わないで、なるべく早く泌尿器科の受診をお勧めします。

腎細胞癌：早期にはまったく自覚症状がありません。しかも根本治療できるのは早期発見・早期手術が可能なおきだけです。進行すると分子標的薬などで治療しますが、副作用が多く楽な治療ではありません。根治治療が出来た方の多くは、人間ドックでのエコー検査や、他の病気の検査で行ったC Tで発見されています。1年に1回、人間ドックを受けられることをお勧めします。

精巣癌：10代後半から30歳代の男性に見られる非セミノーマ癌と、40歳代以上に多くみられるセミノーマ癌があります。特に非セミノーマ癌は病気の進行が早く、短期間に進行してしまいます。精巣にしこりを触れたり違和感をもったら、1日でも早く泌尿器科の受診をお勧めします。

受診される時、今までの健康診断の検査結果や、内服されている薬の説明書などをお持ちの方は、ぜひご持参ください。診断や治療に有意義な手がかりとなることがあります。

第13回 市民公開講演

～ 最期まで目一杯生きる～

平成26年度 がん診療連携拠点病院機能強化事業

今回は、「緩和ケア診療所・いっぽ」の萬田緑平先生を、お招きして
「最期まで目一杯生きる」と題してご講演をいただきます。

とき 平成26年8月30日(土) 14:00～16:00(開場13:00)

ところ 桐生市市民文化会館 4階 スカイホールA (約210名)

参加費 無料・参加自由 事前申し込み不要

※お車でのご越しの方は、桐生厚生総合病院駐車場または、桐生市市民文化会館立体駐車場をご利用ください。

プログラム

司 会： ^{やま} ^べ ^{かつ} ^み 山 部 克 己 (桐生厚生総合病院 呼吸器外科部長)

講 演： ^{まん} ^だ ^{りよく} ^{へい} 萬 田 緑 平 先生 (緩和ケア診療所・いっぽ)

「最期まで目一杯生きる」

質疑応答

主 催 桐生厚生総合病院

共 催 地域医療連携室・緩和ケアチーム

問い合わせ 桐生厚生総合病院

- 地域医療連携室 TEL 0277-44-7150 (問い合わせ時間：平日8:45～17:30)
- 相談支援センター TEL 0277-44-7165 (問い合わせ時間：平日9:00～16:00)

正面玄関前滑り止め工事について

雨天の際、正面玄関前の通路が滑りやすいとの声
が意見箱に多く寄せられ、前回の工事では、薄いゴム
被膜(2mm)でしたが、今回は、ゴムチップ(10
mm)を使用しての滑り止め工事を行いました。また、
点字ブロック(視覚障害者誘導用ブロック)につい
ても併せて改修いたしました。

これからも多くの患者さんが安心してご利用いた
だけるよう、患者サービス向上に努めてまいりたい
と思います。

患者サービス向上委員会



ホームページを一新しました

平成26年4月から、厚生病院のホームページをリニューアルいたしました。従来のホームページと比べ、ボタンや文字の大きさ・配色などを見やすいものとし、さらに内容を整理することで、より利用者に配慮したデザインを心掛けております。

また、ページ上部には、「ご来院の皆さまへ」「診療科のご案内」「健診のご案内」「当病院のご案内」のボタンを固定し、情報を整理・分類することで、利用頻度の高い内容を集約しております。さらに交通案内情報も一新し、初めて厚生病院に来られる方でも、簡単に調べられるようになりました。

ホームページのリニューアルは5年ぶりとなり、今後も、有益な情報を常に発信し続けられるようなページ作りを目指してまいります。



イベント情報ページを新設しました

TOPページの「イベントのご案内」にて、病院内外で行われるイベントや、医師や看護師をはじめ、病院職員が活躍するイベントをご案内しております。相談会や講演会など、様々なイベントをまとめて掲載しておりますので、是非ご覧ください。



健診のご案内が見やすくなりました

あなたの体の健康状態を、手軽に検査してみませんか？厚生病院では、病気の早期発見、早期治療のために、健診やお手軽な検査に力を入れております。

詳しい内容は、厚生病院のホームページ内の「健診のご案内」をご覧ください。



(外来診療担当医表はホームページ内で公開していますので省略いたしました。)